

はじめに



近年、わが国では、高齢化、核家族化や生活様式の多様化に伴う生活習慣病の増加、また、これらを原因とする寝たきりや認知症等の要介護状態となる人の増加など、社会を取り巻く環境は大きく変化しています。

本市も同様にこうした社会環境の変化に直面しており、各々の課題解決に向けた取組の推進が求められています。

このような背景を踏まえ、本市では、平成30年（2018年）3月に終期を迎える「第2次・健康たかつき21（健康増進計画・食育推進計画）」に基づく取組を評価した上で、課題を整理するとともに、新たに食育分野については「健康」に重点を置き、健康増進計画と食育推進計画を一体的に統合した「第3次・健康たかつき21」を策定しました。

本計画は、平成30年度（2018年度）から35年度（2023年度）までの6年間を計画期間とし、高槻市総合戦略プラン（第5次高槻市総合計画）の健康分野における総合的な計画として位置付け、『市民自ら健康づくりに取り組み、生涯にわたり健やかに暮らせる都市（まち）・たかつき』を基本理念として掲げています。

地方公共団体が健康に関する政策を推進するにあたり「健康寿命」が指標の一つとして重視される中、大阪府の公表による本市の健康寿命は男性、女性ともに大阪府平均を大きく上回っており、これまでの取組が市民の皆様の健康増進・食育推進に一定の成果を挙げてきたものと実感しています。

今後も健康寿命の更なる延伸を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくりに向け、ライフステージ別、地域別の具体的な各種取組の推進を目指し、市民、地域、学校、関係団体、企業等の皆様との連携・協働を図りながら、本計画に基づき各種取組を着実に行ってまいりますので、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、アンケート調査やグループインタビュー等にご協力いただいた皆様をはじめ、パブリックコメントを通じて貴重なご意見をいただきました皆様、「高槻市保健医療審議会」の委員の皆様、並びに関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、本計画が市民の皆様の健康増進と食育推進に寄与することを心より願っています。

平成30年（2018年）3月

高槻市長 濱田 剛史

目次

第1章 基本的な考え方	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけと期間	4
3. 計画の策定体制	6
4. 基本視点と基本理念（目指すべき目標像）	8
第2章 健康をとりまく状況	10
1. 人口と年齢構成	10
2. 出生の状況	11
3. 死亡の状況	11
4. 平均寿命と健康寿命	13
5. がん検診の受診状況	14
6. 国民健康保険加入者の受診状況	15
7. 要支援・要介護認定者の状況	19
第3章 第2次・健康たかつき21（健康増進計画・食育推進計画） の評価	20
1. 健康増進計画	21
2. 食育推進計画	36
第4章 計画の取組体系	38
1. 目標について	38
2. 目標項目について	40
3. 目標値設定について	40
4. 取組体系について	40
第5章 計画の取組内容	42
1. ライフステージ別の健康づくりの推進	42
全体目標：健康寿命の延伸	42
重点目標：生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	43
分野別目標：生活習慣の改善と社会環境の整備	49
（1）栄養・食生活・食育	49
（2）身体活動・運動	63
（3）休養・こころの健康づくり	71
（4）歯・口腔の健康	77

(5) たばこ（喫煙）	84
(6) アルコール（飲酒）	89
(7) 健康づくりを支える社会環境	94
2. 地域別の健康づくりの推進	101
(1) 北東地区	102
(2) 北西地区	105
(3) 南東地区	108
(4) 南西地区	111

第6章 計画の推進体制・評価体制 115

1. 計画の推進体制	115
2. 進行管理と評価	118
3. 第3次・健康たかつき21の目標項目一覧	119

参考資料 130

1. 第2次・健康たかつき21（健康増進計画・食育推進計画） の目標達成度一覧	130
2. 策定経過	138
3. グループインタビューの結果概要	147
4. 目標項目に関する基礎資料	154
5. 健康都市宣言とシンボルマーク	166
6. 用語の解説	167